



ぶつかる



1 こんな時、どのような事故が起きるか想像してみましょう。(危険予知トレーニング)



事故予防のためのチェックリスト

- 人通りの多い道路では周りに注意しながら通行していますか。
- 公園で遊んでいる時も周りに注意していますか。

事故例



話しながら歩行中に人や電柱にぶつかる



滑り台の下にいた人とぶつかる



ブランコの前を通過した人とぶつかる

— 「ぶつかる」は大人と子どもと乳幼児で多く発生しています。 —

2 主な事故 (実際にあった事例です)

高齢者

- 半開きのドアに気付かず頭をぶつけ、額をケガ



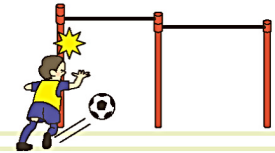
大人

- 駅の階段を降りてきた乗客とぶつかり、顔をケガ
- 飲酒后、帰宅途中に電柱にぶつかり、顔をケガ
- 踏切を横断中、降りてきた遮断機にぶつかり、額をケガ



子ども

- テレビ台に額をぶつけ、頭をケガ
- 鉄棒に気付かずぶつかり、まぶたをケガ
- 廊下を走っていてガラスのドアにぶつかり、腕をケガ



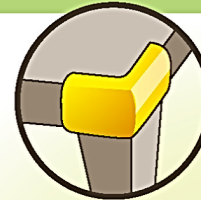
乳幼児

- 頭部をテーブルの角にぶつけ、出血



3 事故予防対策

家具の配置



家具はぶつかる危険のある場所を避けた配置を心がけましょう。また、家具のとがった部分にはクッションを貼りましょう。

家具の固定

家具等を固定しておくことは、地震発生時の家具の転倒、落下防止にも有効です。



周囲に注意

周りに注意して行動するように心がけましょう。また、常に危険と隣り合わせという気持ちを持ちましょう。

